

確認テスト

所属 _____

氏名 _____

介護職の医療的行為（ストマケア）

1) ストマケアに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () ストマには、人工肛門と人工膀胱がある。
- ② () 介護職が実施できるストマの処置は、パウチを交換することである。
- ③ () ワンピースタイプのパウチの排泄物の処理方法は、パウチ内が満杯になるまでそのままにしておく方がよい。
- ④ () ツーピースタイプのパウチの排泄物の処理方法は、フランジは外さずパウチのみを外して、排泄物を捨てる。

2) ストマケアに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 便や尿の性状も観察することが大切である。
- ② () 大腸ストマからは、水様便が排泄される。
- ③ () 小腸ストマからは、軟便から固形便が排泄される。
- ④ () 小腸ストマからは、軟便から固形便が排泄される。

3) ストマケアに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 人工肛門は、大腸がん、大腸や小腸の疾患により、腹壁に造設された腸より便を排泄するものである。
- ② () 人工肛門であっても、意識して排便を我慢することはできる。
- ③ () パウチの中に大量の出血が認められる場合は、速やかに受診する。
- ④ () 人工肛門の場合、厳しい食事制限はないが、下痢をしないように食事を注意したり、においがあまりしないような食品を意識することも重要である。

4) ストマケアに関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () パウチは、排泄物が液体であればあるほど漏れやすいので、下痢をしないような食品選びが大切である。
- ② () 下痢便が多いと、パウチの漏れが多くなり、ストマ周辺の皮膚障害が増える。
- ③ () 皮膚のしわがある場所や凸凹がある皮膚のように、ストマの造設場所が悪いと漏れが多くなり、皮膚障害も多くなる。
- ④ () パウチの漏れが多い場合には、看護師と相談して、漏れの無いストマケアを検討する。

6) 事例問題

大腸ストマの方で下痢やおいを気にしている場合には、食べ物を工夫することで下痢やおいを予防することができる。どのような方法が考えられるか？

確認テスト 解答・解説

介護職の医療的行為（ストマケア）

1) 解答 ①○, ②○, ③×, ④○

〈解説〉

- ③ × ワンピースタイプのパウチの排泄物の処理は、パウチ内が満杯になる前に行う。
満杯になるまで放置すると、フランジが重みで外れやすくなる。

※以前は介護職が実施できるストマの処置は、排泄物を取り出すことのみであったが、
今ではパウチの交換も介護職員で可能となっている。

2) 解答 ①○, ②×, ③×, ④○

〈解説〉

- ② × 大腸ストマからは、軟便から固形便が排泄される。
下痢になってしまった場合には水様便になることもある。

- ③ × 小腸ストマからは、水様便が排泄される。

3) 解答 ①○, ②×, ③○, ④○

〈解説〉

- ② × 人工肛門は、肛門括約筋がないので、意識して排便を我慢することができないため、常にパウチを装着する必要がある。

4) 解答 ①○, ②○, ③○, ④○

〈解説〉

- ①人工肛門のストマケアでは、下痢にならないように食事等を調整することが重要である。

- ②下痢になるとパウチの漏れが増えて、ストマ周囲の皮膚障害が悪化しやすくなり皮膚が炎症して、かゆみや痛み、表皮剥離、水泡、潰瘍など様々な皮膚障害が生じる。皮膚障害がひどくなるとパウチを貼付することもできなくなったりする場合もあるのでスキンケアは最も重要なケアとなる。

- ③ストマの増設位置は、手術前に主治医と共に相談して決めることが重要であるが、

例えば、元々しわのある部位や凹凸がある場所にストマができてしまうと、うちが外れやすかったり、便が漏れたりして、スキンケアが難しくなるため手術前に主治医とよく相談しておく必要がある。

- ④パウチの漏れが多い場合には、ストマケアに詳しい、WOC（皮膚・排泄ケア認定看護師）の資格を持った看護師に相談すると漏れのない貼付方法などをアドバイスしてもらえる。

5) 解答例

下痢を予防するには、食事内容に注意を払う必要がある。例えば、牛乳は大便がベタベタになりやすく処理に困るので、避けた方がよい。炭酸飲料やアルコール類、アイスクリーム、果物、生玉子などは、便が軟らかくなりやすいので、外出時などは控えた方が安心である。

においの強い食品は、ねぎ、にんにく、玉ねぎ、チーズなどである。食べてもよいが、食べると下痢やにおいが気になりやすい食品なので、外出時などは避けるのがよい。

【参考文献】

- 1) 岩下馨歌里：研修用DVD安心安全ケア教育 下巻，日総研出版，2012.
- 2) 介護人財育成ぷらすVol. 5, No. 7（特別編集号），日総研出版，2008.

教材作成

有限会社ファイブアローズ 取締役 岩下由加里

※本教材は「介護研修115の問題用紙」（日総研出版）の教材を大幅に加筆修正したものである。